

令和4年 第4回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

**【立田地区】**

令和4年 第4回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会

【立田地区】

会議録

開会日時 令和4年12月21日(水) 午後 1時58分  
閉会日時 令和4年12月21日(水) 午後 4時10分  
場 所 立田支所 1階 第1会議室

●立田地区

■出席委員

会 長	水谷 瀧 男
副 会 長	中野 俊 郎
委 員	石黒 照 人
委 員	高橋 和 希
委 員	中野 利 哉
委 員	照井 緑
委 員	岩間 彰 子
委 員	原 秀 一
委 員	浅野 忠 勝
委 員	平野 英 明
委 員	吉次 章 浩

■欠席委員

委 員	服部 惣 一郎
委 員	伊藤 幹 雄
委 員	野田 た 忍 子

■事務局	教育長	平尾 理
	教育部長	三輪進一郎
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	企画政策部危機管理課長	大野敦弘
	市民協働部市民協働課長	丹羽久美

■傍聴者 4名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 中学校の統廃合について

(2) 小学校について

(3) その他

4 閉会

(事務局)	1. 開会 開会宣言
(教育長)	2. あいさつ 本日は第4回の地区検討協議会となります。佐屋地区と佐織地区の検討協議会が第3回をもって、一定の方向付けをいただいている状態です。八開地区は、令和5年1月にも検討協議会を開催予定です。立田地区においては、立田中学校の統合について方向付けをいただきたいと思います。立田地区においては老朽化や通学に伴い課題が山積しております。今日のみの協議では、終わることはないと思います。委員の皆様方には、ご無理を申し上げますが、年明けも協議をお願いいたします。また、前回の協議会の中で、教育委員会からの情報発信が足りないのではないかというご意見をいただきました。それについては、私どもも、十分認識しており、早速、市内小中学校で子どもたちから保護者へ、また1月広報に合わせて第2弾のお知らせをする予定です。教育委員会の今までの進め方については、ご批判も多々あると思いますが、真摯に受け止めながら、今後に活かしていきたいと思っております。
(事務局)	では、水谷会長よりご挨拶をいただきますので、よろしくお願いたします。
(会長)	前回までに全体会からの流れの意見を皆様方からいただき、うまくまとめることができませんでした。今回もまだまだ色々な議論があると思いますが、忌憚のないご意見をいただき、ある程度統合案について方向付け出来たらなと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。
(会長)	3. 議事 それでは、議事に入る前に、第2回の議事録の承認をいただきたいと思います。意見等ありますでしょうか。
(事務局)	修正点について説明
(委員)	9ページの車で「5分」とある部分を「15分」に修正をお願いします。
(事務局)	修正いたします。

(会長)	修正を含め、承認をいただきたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。
(委員)	《全委員異議なし》
(会長)	ありがとうございます。では、議事録について承認いたします。 では、議事に入っていきます。事務局より資料の説明をお願いします。
(事務局)	資料 2、3 について説明
(会長)	では、資料 1 のアンケートについてご説明をお願いします。
(委員)	資料 1 について説明 アンケートについて立北小保護者と立南小保護者それぞれから報告させていただきます。
(委員)	<p>個人的に統合するのは反対とお伝えしてきましたが、あくまで個人としての意見でした。しかし、保護者の皆様方にアンケートを実施し、立田地区の 7 割の方が統合案に反対という結果でした。自由記述にも目を通していただきたいのですが、保護者の皆さんは本当に、真剣に考えていただいています。</p> <p>保護者は、今の立田地区の教育の環境が良いと感じているから統合に反対だと思います。行事を見ているが、運動会で 1 年生から 6 年生までみんなが踊れるのは、とてもかわいいと言っていました。他地区の大規模校のお母さんから話を聞くと、大規模校だと靴と靴下でしか判別できなくて、探すのが大変と言っていました。本当に今の環境が良いと分かっているから反対であると思います。立田地区の子は優しく、困っている子がいたら、自分たちで助け合っています。それが立田地区の地域柄だと思います。</p> <p>愛西市として、子どもが少なくなってきた、どうにかしなければいけないとは分かっているのですが、今の良い環境を変えてまで統合するメリットが保護者には分からないと思います。なんとか、今の環境を守ってほしいという思いからアンケートを取らせていただきました。</p> <p>立田地区は 30 分あれば、名古屋、岐阜県、三重県に行ける地区なので、人が住まない地域ではないはずですが、でも、学校がなくなるとすごいネックになってくると思います。住む土地を探すのに学校までの距離ほどのくらいか、親は必ず見ると思います。</p>

	<p>前に立田、八開地区の統合があったときからだと何年も経っていますが、ここ1年で6回の会議を始めて、今回4回目の会議ですが、そんな簡単に決めて良いことではないと思います。人を増やすことを考えたり、愛西市としてどうしようもなくなってから動き出した方が良いと思います。もしかすると、愛西市としてもやっているかもしれませんが、目に見える形になっていないのに、中学校をなくしようというのは、保護者や地域の方が納得できるやり方ではないと思います。むしろ老朽化の対策をして、学校をきれいにすることを目玉にして、みんなで楽しく成長できるということを宣伝して、立田地区を盛り上げてほしいと思います。百歩譲って、小中一貫にしても学校を残してほしいと思います。</p>
(委員)	<p>アンケート用紙を配ったときに、立田八開の統合の話じゃないのかという人が多く、全然知らない人が多いと感じました。アンケートをしても、何も知らないなので、どう回答すれば良いのか分からないとも言っていました。なので、立南小は回答率が少ないのかなと思います。説明会があると思っているので、聞いてから答えてはいけないのかという方も見えました。説明会を聞いて、自分たちの意見を言えると思っている方がいると思います。ですので、関係している人たちが何も分かっていない状況で統合の話だけが進んでいる印象を受けます。まだ、お子さんがいない方も関係してくると思います。一部の人にしか話が伝わっていないと思います。</p> <p>私も本当ならクラス替えが出来るような学級数が望ましいと思います。一方で地域に小中学校を1校ずつ残してほしいという思いもあります。どんどん考えていくうちに、色々な考え方があって、私も一つの意見に絞れていない自分がいます。進めるのが早い気がします。</p>
(委員)	<p>両校の保護者の方からご意見をいただきましたが、十分な議論が必要であるということが意見として多いと思います。</p> <p>アンケート結果の説明をさせていただくと、何らかの小規模校対策は必要であるという保護者の方が多い。ただ、今回の協議会案については、反対が多い。なぜかという、距離の部分とクラスの適正規模が問題ではないのかと思います。適正規模適正配置という名前にあるとおり、適正な範囲内に収める必要がある。適正規模については、国の基準では、中学校は、9から18クラスなので、各学年3から6クラスだと思います。しかし、立田の方たちは、設問7にあるとおり3から4学級が良いのではないかと考えて見えます。</p>

	<p>私は、元々立田出身ではなく、名古屋出身で適正規模を5、6クラスだと思っていました。育ってきた環境で適正規模というのが違ってくると、アンケートを通して感じました。立田地区として、この規模が適正だと考えている方が多いのであれば、ある程度尊重しなければなりません。ですので、6学級以上というのは、適正規模ではないと感じました。</p> <p>距離については、おおむね6 km以内と定められているので、その中に収める必要があるという意見がほとんどです。協議会案では、7 km以上かけて通学することになりますが、7 km以上かけて通学する意見は少ない結果になりました。</p> <p>統合の時期については、唐突な協議会案が出たということもありますが、もう少し遅らせた方が良いという意見が多い。あとは統合自体に反対という方が多いので、もう少し規模、距離、時期についての議論が必要だと思います。保護者に説明も必要だと思います。皆さんのコンセンサスを得ながらやっていく必要があるとアンケートを通じて感じました。</p> <p>本当に6回、2、3か月で決まった協議会案で、自分も協議会の一員でしたので責任はありますが、もう少し色々な案を皆さんと考えていきながら、まずは、立田地区にとってふさわしいものと考えていく必要があると思います。その後に、愛西市として許容できる範囲とできない範囲があると思いますので、そういった地区の案を出して、市で揉んでいくという順序が良いと思います。今は逆で、市がそうしていくというと当然保護者としては、反対すると思います。順序が逆だと思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。今アンケートについて説明いただきました。もう少し議論を深めていった方が良いという意見。話を聞いて、説明会を早くやらなければいけないと思いました。</p>
(委員)	<p>アンケートについて、他の委員の方ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>アンケートを作成していただき、ありがとうございます。私もアンケート実施に当たっては、気を付けた方が良くと申しあげました。その意見を聞いて、資料を載せていただきましたし、QRコードからは、議事録が読めるページにアクセスできるような形にさせていただきました。</p> <p>前回の会議のときにも、ホームページをどれくらい見てもらったか、増えているか見せてもらいましたが、アクセス数は増えていませんでした。私たちも資料を見て、委員自身が現状どれだけ理解できるかという10の内5でも把握できればすごいと思っています。アンケートの中にたくさん表を出していただきましたが、これを見て、保護者の皆さんが</p>

(会長)	<p>どれだけ理解できるかという、まず 3 ぐらい理解できれば良いのかなと思いました。</p> <p>前回の会議でも情報発信が足りないのではないかとおっしゃっていただきました。言うだけではいけないと思って、会議の内容を公開するブログを開設しました。また、Instagram でも会議内容について発信しています。もし、あとで会長に承認を得られれば配布させていただきたいと思っています。</p> <p>ブログを閲覧いただいた複数の保護者の方から、アンケートの回答の仕方がこれを見て変わったという意見をいただきました。やはり、問題の背景がどこにあって、何が適正規模なのかというのが根本的に伝わってないと感じました。これを伝えるのは難しいのですが、アンケートの結果も含め、しっかり丁寧に分かりやすく伝えなければならないと思います。</p> <p>また、アンケートの第 1 問で適正化が必要だと感じている人が 6 割いて、その障壁が通学距離だというふうに解釈できると思います。皆さん適正規模にすることには賛成だけれども、通学距離には納得できない。逆にそれをクリアできるプランができれば、問題の背景を理解した上ですけれども、納得して通っていただけるような結果であると思います。立田の風土が良いというのは、私も大学、大学院とずっと過ごしてきて、肌で感じています。今、問題が起きていないのは、教育委員会の皆さんの努力のおかげだと思います。非常勤講師の先生を一生懸命に探してきて、なんとか教育の質を担保してもらっています。私たちが考えなくてはいけないのが、10 年後、20 年後の立田ですので、小学校は、ほんわかした雰囲気というのは良いとは思いますが、中学校では通用しないと強く申し上げたいと思います。それは私自身が、問題の背景を正確に認識していると自負している上で、どのように情報発信して保護者の方の理解を深めていくかだと思いました。</p> <p>ブログでは、広く意見を募集しています。ただし、思い付きでは書かないでくださいと言っています。そのプランが必ず実行可能で、持続可能で、かつ根拠を示せるのであれば、議論するのに現実的です。なくさないでくださいと言うのは簡単ですが、それでは解決できない部分がありますので、責任を持って意見を言っただけの分には意味があると思います。</p> <p>他の委員の皆さまご意見等ありますでしょうか。</p> <p>今、意見を聞いていると、もう少し色々な方に知っていただくことが大事だということでした。そのあたりをどうしていくか課題となると思</p>
------	--



	<p>います。</p> <p>中学校の統合について、立田は立田で残しておけば良いという意見が多いと感じますが、今まで議論してきた中で、専科教員の問題等で人数が必要であるということ、それを先のことを見越して考えなければいけないと思います。先の検証委員会という委員会でも、中学校を優先していかなければならないと言われていました。また、議会の中でも話に出てきていると思います。それを受けて、中学校を優先に着手していこうということで、今まで動いてきたわけです。小学校については、それぞれの地区で考えてくださいということで、地区検討協議会に降りてきているわけです。</p> <p>全体の協議会の中では、もちろん統合は必要ないという意見もありましたし、統合案についても色々検討し、協議会案として佐屋中学校と立田中学校の統合ということで、委員の中である程度一つの方向性が出てきました。それに従って、地区検討協議会でどうだろうと検討していくわけです。</p> <p>やはり、その中で立田は立田で残しておけば良いのだという意見もあると思います。しかし、前の意見を覆すまでは難しい問題だと思います。立田地区検討協議会として、もう一度よく考えなければいけません。通学の問題や広報の問題があると思いますが、非常に難しいと思います。</p> <p>委員の皆様方、ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>時期について、理解を深めていただくのが第一だと思います。ただし、令和 8 年度末というのは、ある意味時限だと思います。過小規模校になるのが見えていますし、年々中学校の先生の人数も減っていきます。今非常勤の先生で 70 代の方も教えていただいていると聞いています。それぐらい学校の現場はギリギリだと思います。令和 8 年度末というのが見えているのであれば、目標を設定するべきだと思います。それまでに 5 年しか準備の時間がありません。それは、急ぐのではなく、着実に進めていく必要があります。計画としてきちっと固めなくてはいけない段階です。計画が出来てから説明してほしいという保護者はそういうことを思っているからだだと思います。</p> <p>アンケートについては、非常に細かく作成いただき、感謝いたします。中学校を優先着手については、物理的に誰が見ても明らかであったので、放っておけないというのが、検証委員会でも検討協議会でも意見がありました。それがなにかというと、過小規模校になると専門家の正規の先生が揃わないのが現実です。揃ったとしても、非常勤講師の先生となり</p>
(委員)	
(教育長)	

(委員)	<p>ます。やはり、正規の教員が 9 教科揃っていることが望ましいです。これは、検証委員会委員の方や検討協議会委員の方が繰り返しおっしゃっていたところになります。現実的に予算化をしたとしても先生がいない状況であります。</p> <p>余談ではありますが、平成 10 年代の小学校の教員採用試験の倍率が 12、13 倍ありました。令和に入り、倍率が 3 倍を切っています。それだけ、先生の成り手が不足しているということです。</p> <p>ですので、過小規模校の一番のデメリットは、先生が揃わないことです。確実に言えることだと思います。学校規模によるメリット・デメリットは、あくまで傾向であり、必ずその子がそうなるとは限りません。教育現場で専門教科の先生以外が免許外で教えることになれば、教えられた生徒の持ち前の潜在能力を發揮できない可能性があります。そういったことが、今までの会議で検討され、協議会案が出たということになります。</p> <p>一番に考えてほしいところで、地区説明会でもきちんと説明をしなければならぬと思っています。先生があまりにも負担が多いと子どもたちにも良い影響がないと思っています。9 教科揃ったとしても、一人で複数学年の授業を教えることも負担があります。プロだから当たり前だろうという意見もいただきますが、負担感という視点からも先生たちを見ていただくと良いかなと思います。私も一人で複数学年を教えた経験がありますが、やはり授業準備に時間がかかりました。</p> <p>私も前回の協議会から参加して聞いていますが、八開中学校はすでに過小規模校になっています。八開地区の保護者も委員として参加して見えました。教育的観点から、先生の絶対数は揃わないし、子どもにとってもデメリットが多いように感じています。しかし、親から見たら、別に今も過小規模校で良い教育を受けられていないと八開地区の保護者から意見がありませんでした。前回の会議でも空いている先生が複数校回ったりしているという話もありました。そういった努力をこれからもしていけば良いだけの話だと思います。少なくとも継続していくことを考えていくのが、教育行政だと思います。</p> <p>令和 8 年度末にリミットだと保護者はアンケート上でも考えていない。過小規模校になった瞬間に教育が低下すると考えていません。ですので、令和 8 年度末までに統合というのは、保護者の意見としてはないと思います。もう少し時間をかけて考えていただき、計画をじっくり作成していただいても問題ないと思います。</p> <p>主観的ではありますが、子どもたちは、たしかに専門教科の教育を受</p>
------	---

(委員)	<p>けた方が良いと思いますが、学校に対して、親もそこまで期待をしていないと思います。とりあえず、友達と遊んで、先生の言うことを聞いて勉強して帰ってこれば良いと考えている方がほとんどだと思います。本当に教育に熱心であれば、私学に行くと思います。そこが、教育者の観点と保護者の観点の違いだと思います。</p> <p>教育者は、早く良い教育を受けさせたい。けれども、保護者は、学校を残してあげたいというそもそもの論点が違います。前回の検証委員会も検討協議会も、教育者の比率が多かったです。今になって、意見がぶつかるのも当然だと思います。</p> <p>ですので、令和 8 年度末というのは、何の根拠もないですし、デメリットを受けるとも思っていない保護者が多いので、令和 8 年度と区切らなくても良いと思います。</p> <p>10 年後、20 年後のことを考えるのであれば、学校に通うのに 7 km となると、どんどん過疎化が進むと思います。教育的観点ではありませんので、別の部局になると思いますが、そういったことも考えなくてはなりません。ですので、適正範囲内に収めましょうという意見が多いと思います。</p> <p>アンケートの意見から発言されていると思いますが、やはり将来の中学校がこうなるという背景を分かっている方がどれだけ見えるのかなと思います。まず、中学校を優先するということさえも、分かって見えない方が多い中で、この未来を見据えて残してくださいと言って見える方がどれだけいるのかと思います。</p> <p>反対というよりも、慎重という意見ではないかと思います。物事が良く分からなければ人は慎重になります。逆に問題が突きつけられるとそれをどうにかしなければいけないと知恵を出すわけです。</p> <p>会議で教育のプロの方が集まっていたことは、合理的だと思います。保護者とはいえ、素人です。20 年後に保護者ではない方がほとんどです。そのときの責任を取るために教育委員会が組織として動いているわけです。教育の専門家の方々が愛西市の未来のことを考えて、真剣に議論していただいているのを私は目で見てきました。それに対して、保護者の意見や地域の意見でひっくり返すというのはどうなのかなと思います。</p> <p>まちづくりで人口を増やせる施策をとというのが、必ず意見として挙がってきていますが、今年生まれた子どもたちが全国で 77 万人しかいません。どんどん右肩下がりの状態で、どうして愛西市だけ下げ止まりになるのでしょうか。立田八開地区だけの話ではありません。今のままで、</p>
------	---

	<p>立田八開地区は過疎化が進むと思います。間違いありません。立田八開地区は、ここ 100 年で子どもたちの数が 4 分の 1 になっています。それで、学校を残すというのはどうなのか。親は子どもたちの教育に期待していないとおっしゃっていましたが、小学校と中学校では、受験があるので教え方が違います。教育のベースが学校にあって、足りない部分を塾や家庭教師で補っていく形だと思います。</p> <p>保護者の意見そのものは、背景をきちんと認識していない状態では、こうですという風に言うのは、難しいと思います。</p>
(会長)	<p>他の委員の方ご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>簡単に言うと、保護者は素人だから、その素人の反対意見で会議を進めるものではないということでしょうか。分からなくはないですが、7 割の人がやめてほしいと言っていることを無視して進めることが行政のやることなのかなと思います。</p> <p>少子化も教員の減少も、日本全体の問題であると思いますが、大人がデータを見て、少ないから中学生 7 km ぐらい通学できるよねというのは、無責任ではないかと思います。</p> <p>正規職員の先生を他の学校との兼任にできないでしょうか。例えば、立田中学校の音楽や家庭科の先生が、八開中学校や佐屋中学校を兼任することはできないでしょうか。</p>
(事務局)	<p>兼職というやり方で、できなくはないですが、例えば、立田中学校に正規の家庭科の先生がお見えになったとして、授業時数が週 1 時限 6 クラスであれば、6 時限となり、空いている時間を八開中学校にということになります。できるとは思いますが、その分正規教員として業務が立田中学校のその曜日は一人少ない状態で運営することになります。</p>
(委員)	<p>その何が問題なのでしょう。</p>
(事務局)	<p>人数が少ない中で、さらに他の学校に行くと、学校は絶えず全員の先生が揃っているわけではないので、運営が難しくなります。</p>
(委員)	<p>なぜ、立田中と八開中の家庭科の授業がかぶる仮定なのでしょう。</p>
(事務局)	<p>八開中学校に授業に行ってしまうと、立田中学校の先生が一人減ってしまいます。</p>

<p>(委員)</p>	<p>そのときだけではないですか。その時限だけとか、その曜日だけであるとか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>授業以外でも学校の先生方は業務がありますので、その分少ない先生で回す必要が出てきます。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>授業というのは、誰でもできるというのではなく、子どもたちを知らないといけないと思っています。基本的には、学級経営や生徒指導等がありますので、厳しい面があります。兼任をするというのは、ソフト的に難しいものがあります。授業だけでは分からない部分もあると思います。そのときに個別対応が出来るのかどうか。</p> <p>理屈では兼任が可能なのですが、授業だけやれば良いのであれば、講師と一緒になってしまいます。子どもたちを知らないといけないと思っています。私たちの理想としては、非常勤講師を減らし、できるだけ正規教員を確保したいと思っています。説明をしても、なかなか理解していただけない部分です。兼任が出来るなら、もう学校で導入していると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>一回であればそうなるかもしれませんが、立田や八開の少ない学級数で1年間続ければ、ある程度生徒を理解できると思います。逆に4クラス5クラスのところよりも良いのではないかと思います。</p> <p>物理的にできないわけではないのであれば、やってみる必要があると思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>先生への負担は大きくなると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>負担は大きくなり、出張等があるのは分かりますが、やりくりすれば出来るのではないのでしょうか。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>大変負担があると思います。授業を組むのも、中学校は毎週時間割が変わります。それを2校で調整することや、各校の取組みの違いがあり、極めて負担が増加してしまいます。自分の学校だけでも授業の調整に時間を要しています。それを実行してほしいということであれば、やれないことはないが、教育への効果は薄いと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>国語とか数学の単位数が多いのは大変だと思います。</p>

	<p>WEBでの授業もできないのでしょうか。</p>
(教育長)	<p>基本的には、対面での授業が基本となります。</p>
(委員)	<p>基本的にはそうだと思いますが、全部が全部そうではないと思います。</p>
(教育長)	<p>要望はお聞きしますが、出来ることと出来ないことがあることをご理解ください。</p>
(委員)	<p>物理的に出来ないとは言っていないですよ。</p>
(教育長)	<p>この場だけで出来る、出来ないは言うことができません。</p>
(委員)	<p>では、検討をお願いします。</p>
(教育長)	<p>なかなか難しいということはお伝えいたします。  私たちは、将来的にこうなってしまうということをお示しし、布石を打っている状態です。どこの自治体でも、こういった問題で必ず起きてくるのが、教育論と地域論とのせめぎ合いです。今でも、先生の見方と保護者の見方があります。お互いに理解し合わないといけないと思います。100%賛成で統合がなった地域は、聞いたことがありません。将来の立田で生まれてくる子どもたちのために、しっかりと考えていかなければいけません。  今後、人数がどんどん減って、そのときすぐに統合しましょうということではできませんので、今投げかけているわけです。</p>
(委員)	<p>そのアンケート結果がまだ早いというのが出ています。もう少し様子を見て、議論する必要があるのではないかという結果が出ています。  ただ、本当に統合となってきたら、保護者の方から統合してほしいという話になってくると思います。</p>
(教育長)	<p>そのときのために布石を打っているのですが。</p>
(委員)	<p>布石を打っているのですが、保護者とずれているということですか。</p>
(教育長)	<p>布石の部分が足りないのでしょうか。</p>

<p>(委員)</p>	<p>十分に布石は打っていると思います。なかなか情報が伝わっていないのは確かですが、ある程度は伝わっています。その上で、もうちょっと待った方が良いというのが、結果だと思っています。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>令和 8 年度末が望ましいという協議会案は根拠があります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>過小規模校ですよ。それは分かっています。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>ただし、私たちはその時期までに準備が整うというのは、難しいと思っています。</p> <p>佐屋中学校に行くということになれば、老朽化が激しい佐屋中学校に立田中学校の子どもたちが来るだけであれば、令和 8 年度末というのは可能だと思えますが、やはり、そうではないと思います。きれいな校舎にして、立田中学校の子どもたちを受け入れた方が良いのではないかなと思っています。</p> <p>そういったことを含めて考えたときに、今のうちからやっておかないといけないということで、情報提供をして、考えていただいています。</p> <p>協議会案では、令和 8 年度末に過小規模校になるというだけで、時期を決めていますが、実際には、難しいと思っています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>限られた時間の中での協議なので、残りの資料についての説明をお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>資料 2 について説明 検討の一つとして資料を作成していただきました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>資料 3 について事務局に作成していただきました。色々なパターンで考えていただきましたので、説明をお願いします。</p> <p>また、佐屋地区と佐織地区の検討協議会の中身について教えてください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>佐屋地区と佐織地区の検討協議会ですが、どちらも協議会案に問題なしということになっていただいております。その中での共通した認識として、立田中や八開中から来てもらうというのは、違うのではないかということでした。愛西市として子どもの数が減ってきているので、規模によって子どもの教育や先生の数が減ることに影響があること。佐屋中のキャパシティに立田中の生徒が入れること。将来を見越して南北に 1 校ずつ</p>

<p>(委員)</p>	<p>という視野があること。立地的に佐屋中学校の場所が良いだろうということ。そこに愛西市として新たな学校が出来るということですので、校名についても固執するものではないということでした。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>資料 3 についても説明をお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>資料 3 について説明</p> <p>この問題は、急いではいけないという意見もありますが、やはり中学校の問題は、急がないといけないと私は思います。このような具体的な案から協議していただくのも一つの方法だと思います。</p> <p>また、令和 8 年度になりますと、津島中学校と清林館中学校が開校となっており、近隣中学校が 2 つ増えるわけです。生徒の取り合いではないですが、規模がさらに小さくなってしまわないかと思います。今から急いでやっていただいても良いのではないかなと思います。</p> <p>皆さんの議題にさせていただければなと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>この資料は、佐屋中学校に行くとしたときの、立田地区からの行き方だと思います。色々なパターンがありますが、委員の皆様、ご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私も立田中と佐屋中を統合というのは思ったのですが、適正配置ということ考えたときに、6 km 以上という場所が出てきてしまいます。立田といのは南北に広い地区で、分けたとしても、石田町は佐織西中まで 6 km と入っていたのですが、後江町は 6 km 以上となってしまいます。国の基準で 6 km とありますので、それ以上になる方たちのことを考えるのであれば、私も立田中と佐屋中を統合するのはやむなしだと思っていましたが、佐屋中ではなく、津島自動車学校付近か佐屋西小辺りが良いのではないかなと思います。</p> <p>佐屋地区の方たちも愛西市全体として考えていただいており、ボロボロの佐屋中と立田中であれば、佐屋の方たちは 1.2 km 程度移動していただく必要がありますが、新しい学校になること。立田地区の方たちも地区から学校がなくなるけれども、6 km 以内に入れるので、どちらにとっても説明ができるのではないかなと思います。</p> <p>地区として、立北小だけこっち、立南小だけこっちというのは、地域のコミュニティが失われていくのであれば、立田地区として固まってくのが良いのではないかなと思います。</p>



<p>(委員)</p>	<p>津島自動車学校辺りにという話は、前の協議会で廃案になった件ではありますが、教育長は、新しい校舎を建てるのにこれほど良い案はないとおっしゃっていました。しかし、問題になったのが、用地買収に関することでした。金銭的にも時間的にも未知数であったと思います。</p> <p>中学校であれば、2ヘクタール必要だと思います。私は農業をやっていますが、農地を行政に売る場合、2ヘクタールだと20億必要です。20億あれば、愛西市内の小中学校の全トイレがウォシュレット付きのトイレに変わると思います。</p> <p>予算については、あるなしというのがありますが、確保したとしてもどこをどう使うのかという問題があると思います。このどう使うかというのは、議会の皆さんが市民の皆さんの意見を聞いて、議会で決めていく部分なので、なかなかここでは議論できません。</p> <p>早尾町の南川並は、佐織西中まで何kmでしたでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>2 kmぐらいだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>津島自動車学校付近に新築が建ったとして、6 km以内になると思いますが、その先の将来、6 km近い学校と2 kmぐらいにある学校と見たときに、6 km近い学校に行かなければいけないときに受け入れていただけますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小学校が一緒だったら、そちらの方に行くと思います。自分の友達がそちらに行けば一緒に行くと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>莫大な予算と時間が未知数なところは、提案としては厳しいのかなと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>用地買収に時間がかかるというのは、前の協議会でも出ていて、金銭的なことに関しても未知数という話ですが、市長とお会いしたときに、そういったお話をさせていただきました。先に教育環境を考えてから、予算のことは後回しでと言われていました。用地買収に関しても、三重県の方も5年で出来た話がありました。令和8年度に間に合わなくても、保護者はそこまで求めていないので、用地買収が出来て、校舎の建築が3、4年で出来るという話であれば、不可能な案ではないです。立田地区としては、自分たちの学校が無くなるし、佐屋地区も移動するのが面倒くさいとは思いますが、妥協案という形で適正配置適正規模が出来るので、</p>

<p>(教育長)</p>	<p>良いのではないかと思います。お金はかけるべきだと思います。それによって、少子化が止められるのであれば、将来への投資になると思います。</p> <p>委員のおっしゃるとおり、新しい校舎が出来れば嬉しいかぎりです。しかし、市の財政のことですので、教育委員会ではお答えできません。</p> <p>なぜ、佐屋中学校の位置にというのは、理由があります。愛西市の将来像として南北で1校ずつということがあります。ちょうど300人程度が1歳、2歳児になります。これが、増えていくとは思いません。日本の人口が3分の2になると言われています。それが300人だと200人程度となる恐れがあります。そのときにどうなるかと考えたときに、南北に1校ずつという将来像が出てきたわけです。</p> <p>そして南北で1校ずつとして想定すると、永和中学校が統合する場合に、立田地区が通学距離についてご心配するように永和中学校区も心配すると思います。そうすると、中心に位置する佐屋中学校が良いのではないかということです。</p> <p>さらに、佐屋中学校の土地は市の財産ですので、利活用を考えていかなければなりません。お金のことは分かりませんが、お金を費やすということは、その負債が必ず子どもたちにかかってくることも考えていただきたいと思います。本当に、うまく活用していかないといけないと思います。そこは、今の大人たちが知恵を絞らなければいけない部分だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>前回の協議会で永和を残す形を提案しました。それで、永和の方たちがどう思っているか聞いてみて、存続を望んでいるのであれば、3校で良いのかなと思います。</p> <p>永和地区は、資料2にもありましたが、小規模にはなりますが、過小規模になるのがこのデータでは見えてきません。</p> <p>そして、佐屋小と佐屋西小と立南小と立北小を合わせると4クラスぐらいで適正規模になるので、合理的ではないかなと思います。</p> <p>また、50年以上経っている佐屋中を移転、新築することはできるということです。保護者の方が望んでいるのであれば、良いのではないかと思います。佐屋中跡地を利活用することで、お金が入ってくるかもしれません。そこは、教育の場で決めることではないですが、総合的に考えて判断した方が良いと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>資料2の小規模校が見えている段階で、すでに論理が破綻していると</p>

	<p>思います。</p> <p>教員定数が 2034 年に 11 名というのは、ギリギリだと思います。体育も男女で先生がいて、技術、家庭科もそれぞれ先生がいて、12 年後の先生が本当に 11 名配置されるのでしょうか。12 年経つと先生の数も減ります。</p>
(事務局)	<p>この間、PTAの方に集まっていたときに話をしましたが、愛知県内で教員定数に満たない学校があるという情報は、入ってきています。</p>
(委員)	<p>教員定数を下回っているところがあるということですか。</p>
(教育長)	<p>新聞にも掲載されましたが、尾張地区の中学校で美術の先生がおらず、評価が出来なかったという事例がありました。</p>
(委員)	<p>中学校区の再編に関して、新築の案もありましたが、立田北部小学校を佐織西中学校に進学させる案を前回の会議で資料として出ささせていただきました。後江町が 6.6 km となりますが、佐屋中に通えば、6 km 以内なので問題ないと思います。ですので、資料 3 (4) の選択肢で北部小学校区の子どもは、佐織西中に進学し、申請により佐屋中に就学校の変更を認可する。または、(7) も良いと思います。佐屋中に通った方が近いのに、佐織西中になってしまう学校区を佐屋中に変えることで、学区問題は解決すると思います。</p> <p>やはり、6 km は遠いという意見はありますが、各論だと思います。自分は遠い、自分は近いという人がいます。全体として見ると、国が 6 km という全国を俯瞰して決めている数字だと思います。適正規模にしても、地域ごとによって、違いますので、幅を持たせていると思います。その上で、現実的な選択肢として (4) をベースにするのが良いと思います。</p> <p>アンケートにありましたが、国道を越える、踏切を越えるというのは、ハードルが高いところですが、立田北部小から佐織西中に通う分には、国道がないし、踏切もありません。佐織西中もそこまで交通量が多いところではありません。田んぼの中に建っていて、良い環境だと思います。</p> <p>地元のつながりが希薄になるというのが、危惧される場所ですが、小学校を同時進行で立田中学校の位置に統合することで、立田というつながりを残したいと思います。</p> <p>立田地区の学校の老朽化もあります。そうすることで、浮く予算が出てきますので、設備にお金をかけてほしいと思います。</p>

	<p>国から予算が下りてくるという話があり、だから急ぐのではないかという話があります。実際のところどうなのでしょう。</p> <p>補助金が出るのであれば、使うべきだと思います。私も事業や経営をしています、色々なところから補助金情報が入ってきます。それを活用して事業を運営していきます。</p> <p>それで、立派な教育環境が整うのであれば、乗っかるべきだと思います。その辺りはどうなのでしょう。</p>
(事務局)	<p>学校をどのように再編していくか。老朽化対策をしていくか。どちらの目的に応じて、国の補助金制度はあります。目的によって、市の財政に一番有利なものを選び、国に申請していきます。</p> <p>特に時限的な補助金制度は、現時点ではありません。ただし、市の借金については、時期的に有利なものがあります。令和 7 年度末までに事業が完了するものに使える制度がありますが、令和 7 年度末に事業が完了するというのは無理と考えます。</p>
(委員)	<p>額としては少ないですか。</p>
(事務局)	<p>借りたお金に対して、手当が付く借金の仕方があり、それが時期的に難しいと思います。ですので、その情報が伝わっているのではないかと思います。</p> <p>かなり有利な借入れは、あったのですが、それには間に合わないの、それを目指してやっているというわけではありません。</p>
(委員)	<p>アンケートの設問 9 について、②が、立南小が 6 人と低く、④が 19 人と多くなっています。この 2 つの項目を入れられた意図をお聞かせください。</p>
(委員)	<p>他の市町村で行っている同じようなアンケートをモデルにしました。</p>
(委員)	<p>着目したのが、②クラス内の仲間意識というのが、友達関係のことだと思います。それに対し、④コミュニケーション能力が身に付けやすいというのが人間関係のスキルだと思います。立田地区として、密なことが良いと思っていたのですが、意外性があったと思います。</p> <p>①生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育を受けられるという点について、保護者の方々は、生徒個々の話ではなく、生徒と先生との関係に重視していると考えます。ですので、先生の質が悪くなるとい</p>

	<p>うことに関して、期待を裏切ってしまうと思います。その点については、色々議論がありましたが、良く考えていただきたいと思います。</p> <p>先程、家庭科の先生が複数の学校を兼任する話があったと思います。分校であれば、兼任があったと思いますので、やれないことはないと思いますが、家庭科の先生も担任を持ちますので、在籍学校が決まっているとすると、クラス指導が手薄になるのではないかと思います。</p> <p>リモート授業については、名古屋の学校と沖縄の学校が合同授業をするような場面的なことはあり得ますので、家庭科のような技術的なものは難しいと思いますが、片方にサブとして先生が付いていれば、リモートは可能だと思います。合同授業を出来るような体制を整えられれば、離れたエリアでもある程度授業が可能だと思います。</p> <p>ただ、気を付けなければいけないのが、先生と生徒のコミュニケーションの中で生まれるもの等については、近くに先生がいた方が良いと思います。</p> <p>立田南部小のアンケートを取られたときに、前回の合併の話ではないかというご意見があったというのは、私としても驚きでした。なので、住民の方にもう少し説明をしなければいけないと思います。こちらのアンケートの数字が出たとしても、根拠がゆるぎかねません。もし可能であれば、もっと説明をして、同じアンケートを取ったときに、同じような数字になれば、真摯に受け止めなければなりません。</p> <p>予算の話について、最初に必要があれば、財政の方を列席していただけたこともあったと思います。そういった上で、難しいと言っていた方が良いと思います。</p>
(事務局)	<p>前回の地区検討協議会で話がありましたが、保護者への説明会について、地区検討協議会から事務局へ依頼がありました。日程が合わず、流れてしまいました。また、財政については、市長部局と説明について打合せを今後しながら説明をできる体制を取っていきたいと思っています。地区説明会の段階では、市長部局の出席も可能かと思います。</p>
(会長)	<p>お時間が来てしまいましたが、今日で、結論が出たと思っていません。中学校のを中心にしながら、統廃合のことについて目星を付けたいと思います。そして小学校のことも、立田として1校でも残すということで捉えていますので、今後の協議会の中で、ある程度のところをまとめていきたいと思っています。</p> <p>本日の資料を読んでいただき、次回もご意見をいただきたいと思いません。</p>

<p>(委員)</p>	<p>今後、住民に説明できるような分かりやすい資料を作成していただきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本当は、私がうまくまとめることが出来れば良いのですが、うまく出来ず申し訳ありません。事務局と相談して今後作成していきたいと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(3) その他について事務局より説明がありますでしょうか。</p> <p>次回の地区検討協議会の日程をお伝えいたします。第5回の立田地区検討協議会は、令和5年1月11日(水)午後2時からを予定しておりますのでよろしく申し上げます。</p> <p>次回の協議の参考になるような資料を会長、副会長と相談させていただき、提供できるようにしていきたいと思います。</p> <p>先程、委員からの資料配布について意見がありましたが、よろしいでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>委員の皆様配布させていただきたいと思います。個人の活動として、農協とかにチラシを置いていただけるようお願いしていきたいと思ます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>委員の方へ配布していただいても構いません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ありがとうございます。逐一協議会の情報を発信させていただきます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>これをもちまして、第4回愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策地区検討協議会【立田地区】を終わります。</p> <p>4. 閉会</p>